

# ご使用になる前に

MEDIASITE (メディアサイト)は、大型ディスプレイにタッチパネル機能を融合したマルチメディアボードです。本書はMEDIASITEを使用するためのソフトウェア「MBソフトウェア」について説明します。

## タッチパネルの操作について

MEDIASITEには、ディスプレイに表示されたメニューやボタンを指などで押す(選択する)と、その機能が実行できるタッチパネル機能が搭載されています。一般のコンピュータではマウスを操作して、ソフトウェアの機能を選択、実行していますが、MEDIASITEでは指などで行うことができます。

### □指などの使い方

指を使用する場合は、指の腹をディスプレイに当てます。指の側面は使用しないでください。

押しても、認識しないことがあります。

また、指などを当てる強弱によって、文字や線を書いている途中で途切れたり、機能を選択できなかつたりします。その場合は、もう少し指などを強く押して操作します。


### □マウスと同じように操作する

マウスと同じようにして、指などを使って操作することができます。

例えば、マウスでクリックするように指などでメニューやボタンを押したり、マウスでドラッグするように指などで図形を描いたりできます。ダブルクリックする場合は、ディスプレイの同じ場所をトントンと続けて押します。

## 機能と操作の説明を見るには

### □オンラインヘルプ

MBソフトウェアには、機能と操作説明のためのオンラインヘルプが組み込まれています。オンラインヘルプを表示させるには、各ツールバーの  (ヘルプ) ボタンを押します。

### □クイックガイド

MBソフトウェアの基本的な使い方については、「MBソフトウェアV4.0クイックガイド」を参照してください。


## 動作環境について

MBソフトウェアは、Windows 95/98/Me/NT 4.0/2000/2002 (XP)の環境で動作します。このソフトウェアをご使用になる前に、Windows環境の使い方に慣れておくとより使いやすくなります。

Windows環境の基本的な機能や操作方法については、Windowsのマニュアルなどをご覧ください。

### □必要なハードウェア

- ・ パソコン本体 : Pentium 300MHz以上のDOS/V機 (500MHz以上推奨)
- ・ メモリ : 64MB以上 (128MB以上推奨)
- ・ モニタおよびビデオカード : SVGA、High Color (16ビット) 以上の表示が可能なもの (XGA、True Color推奨)
- ・ HDD空容量 : 100MB以上



□対応ソフトウェア

- Office : Office 95/97/2000/2002 (XP)

# こんなことができます

## MBソフトウェアの特長

MBソフトウェアは、MEDIASITEを会議やプレゼンテーション、教育などに活用するためのコミュニケーションツールです。電子黒板としての使い方はもちろん、Windowsアプリケーションと組み合わせて使用することにより、多彩な用途に対応します。

## MBソフトウェアの機能

MBソフトウェアでは、下記のようなさまざまな機能をお楽しみいただけます。

### □手書き文字の多彩な編集機能

黒板にフリーハンドで字を書くように、指などを使って文字を書いたり線を引きます。書いた文字を範囲指定して、拡大・縮小・コピー・移動をしたり、色を変えたりすることができます。

### □Windows環境で使用する

黒板機能を起動したままWindows環境に切り替え、他のアプリケーションを操作することができます。また、ファイルや画面を黒板に取り込み、そこに手書きペンで書き込んだりマーキングを加えたりすることも可能です。

### □他アプリケーションとの連携

Microsoft PowerPointのデータを一括で取り込み、大画面でのプレゼンテーションが可能。補足の書き込みやマーキングも自在です。また、MBソフトウェアで作成したファイルをMicrosoft Word形式やBMP、JPG形式で保存して、それぞれのアプリケーションで使用することができます。

\* Microsoft Officeを使って上書きしたファイルをそのままOfficeのファイル形式に貼り付けて保存する場合は「上書きツール」をご使用ください。

### □他メディアとの連携

デジタルカメラ、ビデオカメラ、スキャナーなどの機器と接続することで、その中の画像を取り込むことができます。また、ネットワークに接続すると、多機能ネットワーク端末として利用できます。

## 【オプションツール】

### □電子黒板

Windowsアプリケーションを使用中でも、電子黒板を立ち上げてフリーハンドで書き込みをすることが出来ます。

### □上書きツール

上書きツールを使うと、Windowsアプリケーションへ直接手書きペンで書き込みをしたり、スタンプを押したりすることが出来ます。上書きをした画面の保存はMBソフトウェアの形式、Microsoft Wordの形式またはOfficeに貼り付ける形式から選択することができます。

### □MBツール

手書きで書いた文字を活字に変換したり、キーボードパレットを使ってキーボード入力したりすることができます。

# MBソフトウェアのインストール

ここでは、「MBソフトウェア V4.0」のインストールおよびアンインストールを行う方法について説明します。

## MBソフトウェアのインストール

### 【インストールする際のご注意】

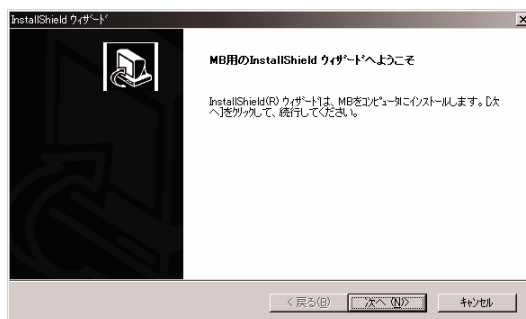
インストールするとき、他のプログラムを起動している場合は、インストールする前に必ずそれらのプログラムを終了してください。MBソフトウェアを起動している場合は、MBソフトウェアを終了してください。

#### 1. Setupを起動します。

「MBソフトウェアV4.0」CD-ROMをドライブにセットすると、「Setup」が起動してインストール開始のメッセージが表示されます。

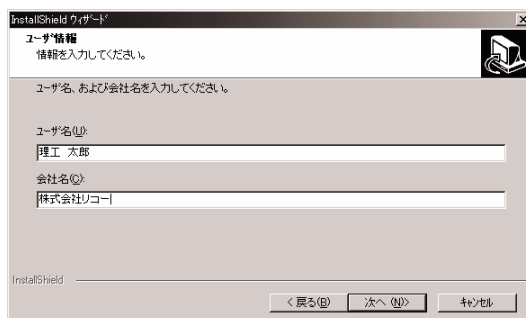
[次へ>] ボタンをクリックします。

\* 「Setup」が起動しない場合は、CD-ROMの「Disk 1¥Setup.exe」をダブルクリックして起動してください。



#### 2. ユーザー情報を入力します。

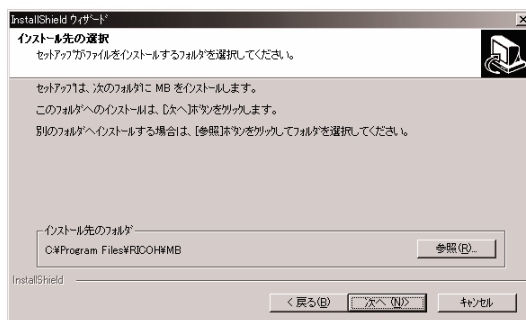
ユーザ名と会社名を入力して、[次へ>] ボタンをクリックします。



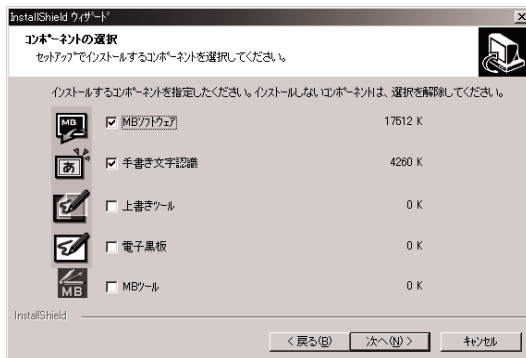
#### 3. インストール先を選択します。

インストール先は、初期値では「C:¥Program Files¥RICOH¥MB」になっています。インストール先を変更する場合は、[参照] ボタンをクリックして場所を指定します。

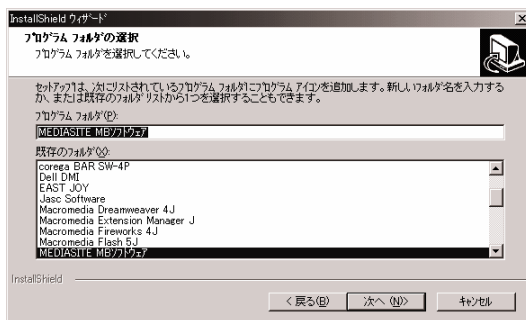
[次へ>] ボタンをクリックします。



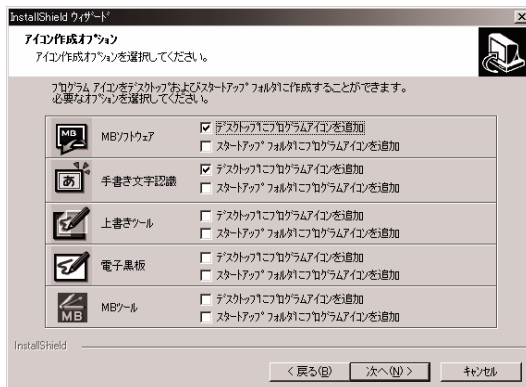
4. インストールするものを指定します。  
「MBソフトウェア」「手書き文字認識」「上書きツール」「電子黒板」「MBツール」の中から、インストールするコンポーネントをチェックして選択し、[次へ>]ボタンをクリックします。  
初期値では「MBソフトウェア」と「手書き文字認識」にチェックが付いています。



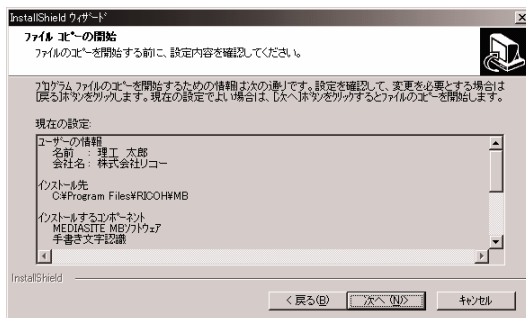
5. プログラムフォルダ名を選択します。  
Windowsタスクバーの[スタート]から[プログラム]で表示されるプログラムフォルダの名称は、初期値では「MEDIASITE MBソフトウェア」になっています。  
変更する場合は、ここでプログラムフォルダ名を変更して、[次へ>]ボタンをクリックします。



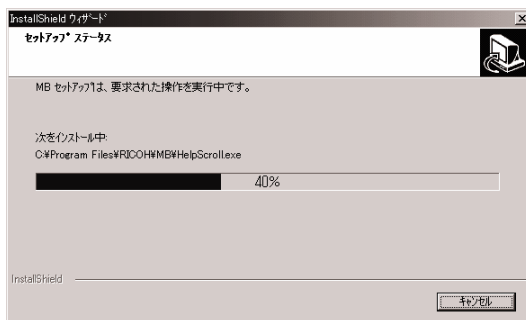
6. アイコンの作成を選択します。  
インストールするコンポーネントのプログラムアイコンをデスクトップに置いたりスタートアップフォルダに置くことができます。  
初期値では、デスクトップに置く設定になっています。  
[次へ>]ボタンをクリックします。



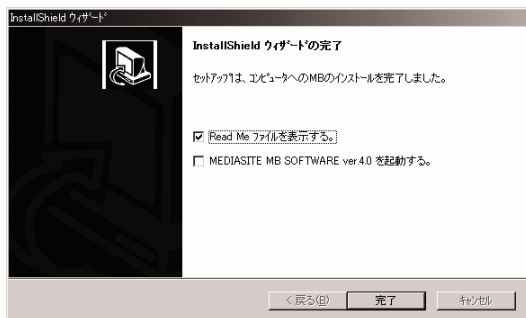
7. インストールを開始します。  
[ファイルコピーの開始]ダイアログボックスで[次へ>]ボタンをクリックすると、インストールが始まります。



8. インストールの状況が表示されます。



9. インストールが完了します。  
完了のメッセージが表示されます。



**MBソフトウェアのアンインストール**  
インストールしたMBソフトウェアを削除する場合は、以下の操作でアンインストールを実行します。

1. Setupを起動します。

「MBソフトウェアV4.0」CD-ROMをドライブにセットすると、「Setup」が起動してプログラムの変更・修正・削除のメッセージが表示されます。

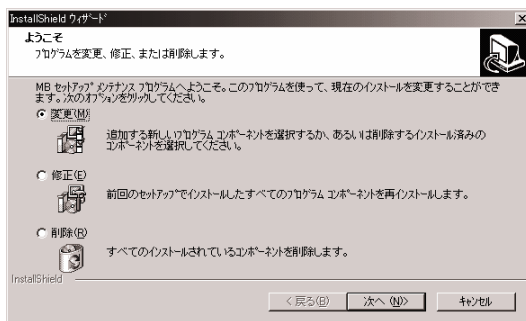
[変更]を選択すると、[コンポーネントの選択]ダイアログボックスが表示され、インストール済みのコンポーネントの削除と新たなコンポーネントのインストールが実行できます。

[修正]を選択すると、[アイコン作成オプション]ダイアログボックスが表示され、インストール済みのコンポーネントの修復ができます。

[削除]を選択すると、インストール済みのすべてのコンポーネントを削除します。

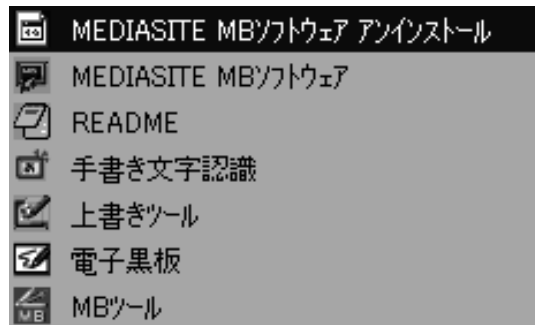
[次へ>] ボタンをクリックします。

\* 「Setup」が起動しない場合は、CD-ROMの「Disk 1\Setup.exe」をダブルクリックして起動してください。



2. WindowsタスクバーからもSetupを起動できます。

Windowsタスクバーの[スタート]から[プログラム]で表示される「MEDIASITE MBソフトウェア」の「MEDIASITE MBソフトウェアアンインストール」から「Setup」を起動して、プログラムの変更・修正・削除が可能です。（プログラムフォルダ名を変更した場合は、そのフォルダ名が表示されます。）



変更と修正を実行するには、MBソフトウェアのCD-ROMをドライバーにセットする必要があります。

## MBソフトウェアのバージョンアップ

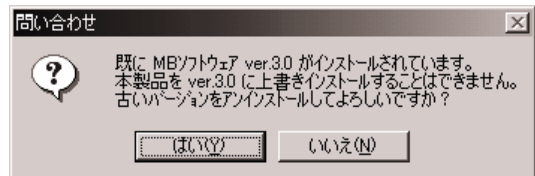
MBソフトウェア Version 1.0、2.0、2.6、3.0からのバージョンアップを実行します。

1. Setupを起動します。

「MBソフトウェアV4.0」CD-ROMをドライブにセットすると、「Setup」が起動して古いバージョンを削除するメッセージが表示されます。


[はい]を選択すると、古いバージョンのMBソフトウェアが削除され、MBソフトウェアV4.0のインストール画面が表示されます。

[いいえ]を選択すると、バージョンアップはキャンセルされて、古いバージョンのMBソフトウェアは削除されません。




# MBソフトウェアを開始・終了する

## MBソフトウェアを開始する

1. MEDIASITEの電源を入れます。  
ディスプレイに黒板が表示されます。
2. すでにMEDIASITEの電源が入っている場合は、デスクトップの  (MEDIASITE MBソフトウェア)アイコンをダブルクリックして、MBソフトウェアを立ち上げます。


## MBソフトウェアを終了する

会議や打ち合わせが終わり、MBソフトウェアを終了するには、次の操作を行います。

1. 黒板ツールバーの  (終了)ボタンを押します。  
[終了]ダイアログボックスが表示されます。
2. [アプリケーションを終了する]ラジオボタンを押します。  
[Windowsをシャットダウンする]ラジオボタンを押すと、MEDIASITEの電源を切ることができます。
3. [OK]ボタンを押します。  
作成中のファイルを保存していない場合、保存のメッセージが表示されます。
4. 保存する場合は、[はい]ボタンを押します。  
保存の操作は、「名前を付けて保存する」を参照してください。  
保存しない場合は、[いいえ]ボタンを押します。  
MBソフトウェアを終了しない場合は、[キャンセル]ボタンを押します。
5. MBソフトウェアが終了し、Windowsの画面が表示されます。

## オプションツールを開始・終了する

「電子黒板」「上書きツール」「MBツール」「手書き文字認識」の各オプションツールを開始するには、デスクトップのアイコンをダブルクリックします。

オプションツールを終了するには、「電子黒板」「上書きツール」「MBツール」の場合は  (終了)ボタンを、「手書き文字認識」の場合は[閉じる]ボタンを押します。



# ツールバーの機能

MBソフトウェアのそれぞれの機能にはツールバーがあり、その機能で使用できるボタンが表示されます。

## 黒板ツールバー

MBソフトウェアを起動すると、黒板ツールバーが表示され、多彩な描画・編集機能が利用できます。初期設定では、標準の標準黒板ツールバーが表示されますが、ボタンはお好みで変更することができます。ここでは、全機能の拡張ツールバーを紹介します。

### 標準の標準黒板ツールバー



### 全機能の拡張ツールバー




ボタン	ボタン名	機能
	WIN	Windows環境に切り替えて、キャプチャツールバーを表示します。
	手書きペン 1 ~ 3	フリーハンドで文字や線を書きます。
	消しゴム	手書き線や罫線、図形、スタンプ、文字を消すことができます。
	全消し	手書き線や罫線、図形、スタンプ、文字をすべて消すことができます。
	前ページ	前のページを表示します。
	ページ番号表示窓	現在のページ番号を表示しています。
	次ページ	次のページを表示します。
	一覧	現在作成しているファイルのページの一覧（サムネイル）を表示します。
	新ページ	新たにページを作成し、そのページを表示します。
	テキスト	手書き文字認識機能で、手書きで入力した文字をきれいな活字体に変換します。変換した文字は画面上に配置することができます。
	罫線	罫線を引いたり、表を作成します。
	直線	直線を引きます。
	矩形	四角形を書きます。
	円	円形を書きます。
	矢印線	矢印線を書きます。
	スタンプ	スタンプを貼ります。
	罫線選択	罫線を選択します。







	手書き線選択	手書き線の範囲選択を行います。 選択した手書き線は、移動やサイズの変更、コピー、貼り付け、削除などの編集を行うことができます。
	図形全選択	図形を全て選択します。
	選択	図形を選択します。
	元に戻す	直前に行った操作を取り消します。
	やり直し	「元に戻す」で取り消した操作を再度行います。
	切り取り	選択部分を切り取ります。
	コピー	選択部分をコピーします。
	貼付け	切り取ったりコピーした部分を貼り付けます。
	形式貼付	形式を選択して貼り付けます。
	削除	選択部分を削除します。
	図形スタンプ編集	図形やスタンプを編集します。
	拡大	押すたびに黒板が拡大して表示されます。
	縮小	押すたびに黒板が縮小して表示されます。
	4画面	押すと黒板を200%に拡大して表示します。再度押すと全体表示に切り替わります。
	スクロール	拡大画面をスクロールします。
	全画面表示	黒板の全体を表示します。
	PPT	プレゼンテーション用アプリケーション「PowerPoint」で作成したファイルを取り込むことができます。
	アニメーション	手書き線をアニメーション再生します。
	スキャナー	スキャナーから文書や写真などを背景として読み込むことができます。
	時計	時刻を表示します。
	ビデオ	ビデオの再生画面をキャプチャーして、MBソフトウェアに取り込むことができます。 注1
	2分割	MBソフトウェアと他のWindowsアプリケーションを2分割して表示します。
	画像回転	画像を回転させる回転ツールバーを表示します。
	色設定	選択している描画モード(手書きペンまたは罫線、図形、文字のいずれか)の描画する色を設定できます。
	MS保存	MBソフトウェアで作成したファイルをMicrosoft Word形式で保存できます。
	開く	新しいページを開いたり、以前作成したファイルを開いたりできます。
	保存	現在作成しているファイルを保存します。
	印刷	現在作成しているファイルのページを印刷します。
	設定	MBソフトウェアの表示の切り替えや、動作の設定ができます。
	ヘルプ	MBソフトウェアの使用方法を表示します。
	終了	MBソフトウェアを終了します。



## キャプチャツールバー


黒板ツールバーの  (WIN) ボタンを押すと、キャプチャツールバーが表示され、Windows の画面を取り込むことができます。















ボタン	ボタン名	機能
	MB	黒板画面を表示します。
	画面キャプチャー	Windows環境で表示された全画面を取り込みます。
	右クリック	Windows環境の右ボタン機能を使用したいとき押します。
	指さし	Windows環境でマウスカーソルを指さしアイコンにします。PowerPointなどのアプリケーションを操作中に、誤って画面に触れて意図しないマウスの操作が起きないようにします。
	キャプチャー	Windows環境で表示された画面の選択範囲を取り込みます。
	ヘルプ	MBソフトウェアの使用方法を表示します。


## 【オプションツール】

### 電子黒板ツールバー














デスクトップの  (電子黒板) アイコンをダブルクリックすると、電子黒板ツールバーが表示され、フリーハンドで書き込みができます。


ボタン	ボタン名	機能
	WIN	Windows環境に切り替えて、Windowsアプリケーションを操作できるようにします。
	ページ番号表示窓	現在のページ番号を表示しています。
	前ページ	前のページを表示します。
	次ページ	次のページを表示します。
	開く	以前作成したファイルを開きます。
	設定	電子黒板と手書きペンなどの設定をします。
	印刷	現在のページを印刷します。
	一覧	現在作成しているファイルのページの一覧(サムネイル)を表示します。
	ヘルプ	電子黒板の使用方法を表示します。
	終了	電子黒板を終了します。
	手書きペン 1 ~ 3	フリーハンドで文字や線を書きます。
	消しゴム	手書き線を消します。

## 上書きツールバー









デスクトップの（上書きツール）アイコンをダブルクリックすると、上書きツールバーが表示され、Windowsの画面に手書きで書き込みができます。




ボタン	ボタン名	機能
	WIN	Windows環境に切り替えて、Windowsアプリケーションを操作できるようにします。
	手書きペン 1 ~ 2	Windowsの画面に手書きで書き込みをします。
	消しゴム	書き込みを消します。
	スタンプ	Windowsの画面にスタンプを貼ります。
	拡大	表示を拡大します。
	縮小	表示を縮小します。
	全画面表示	全体表示に戻します。
	ドラッグ移動	拡大画面をスクロールします。
	ページ保存	上書きを一時的に保存します。
	スクロール	Windowsアプリケーションの画面をスクロールします。
	オプション	その他の機能を表示します。
	ヘルプ	上書きツールの使用方法を表示します。
	終了	上書きツールを終了します。

上書きツールバーの（オプション）ボタンを押すと、以下のボタンが表示されます。










ボタン	ボタン名	機能
	電子黒板	電子黒板を起動します。
	キーボード	キーボードパレットを使って、文字を入力します。
	認識	手書きの文字を活字に変換します。
	ページ消去	マルチモニターでページを消去します。 注2
	ページコピー	マルチモニターでページをコピーします。 注2
	一覧	ページの一覧（サムネイル）を表示します。
	設定	上書きツールの設定をします。
	保存	ファイルを保存します。

## MBツールバー



デスクトップの (MBツール) アイコンをダブルクリックすると、MBツールバーが表示され、手書き文字認識機能やキーボードパレットが使用できます。



ボタン	ボタン名	機能
	認識	手書きの文字を活字に変換します。
	キーボード	キーボードパレットを使って、文字を入力します。
	スクロール	Windowsの画面をスクロールします。
	ページコピー	マルチモニターでページをコピーしたり消去するためのツールバーを表示します。 注2
	テンキー	テンキーのキーボードパレットを使って、数字を入力します。
	ヘルプ	MBツールの使用方法を表示します。
	終了	MBツールを終了します。

MBツールバーの (ページコピー) ボタンを押すと、以下のボタンが表示されます。



ボタン	ボタン名	機能
	ページコピー	マルチモニターでページをコピーします。 注2
	ページ消去	マルチモニターでページを消去します。 注2

注 1) カノープス株式会社製のビデオキャプチャボード「Power Capture Pro」を増設する必要があります。増設の際、ボードのサイズなど詳細については、ボードメーカーまたは店頭にて、ご確認ください。

注 2) マルチモニター表示は、ビデオアダプターカードを2枚以上取り付けられたコンピュータとWindowsXP、Windows2000 およびWindows98/Meの環境で、OSをマルチモニターモードに設定した場合にご使用になれます。マルチモニターの設定など詳細については、カードメーカーまたは店頭にてご確認ください。